CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版　|使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要

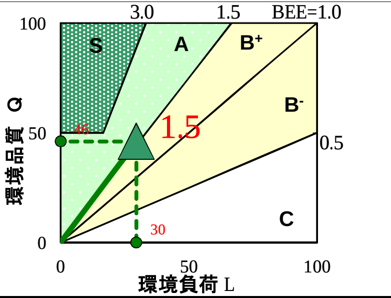
建物名称	(仮称)箕面ロジスティクスセンター新築工事	階数	地上4F
建設地	大阪府箕面市森町西三丁目	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	311 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月　予定	評価の実施日	2020年9月3日
敷地面積	28,183 ㎡	作成者	㈱エネ･グリーン　臼井千尋
建築面積	16,457 ㎡	確認日	2020年9月3日
延床面積	64,356 ㎡	確認者	㈱エネ･グリーン　定森淳一

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =1.5 ★★★★

S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★

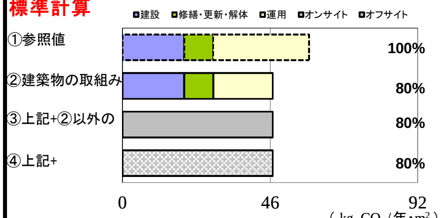


2-2 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

☆☆

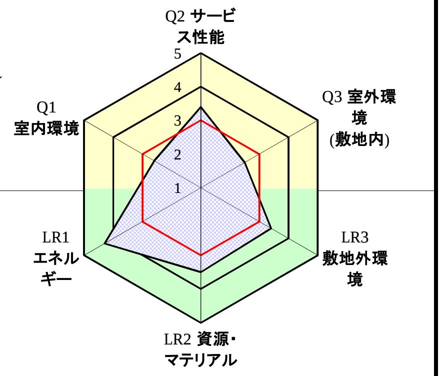
30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ)

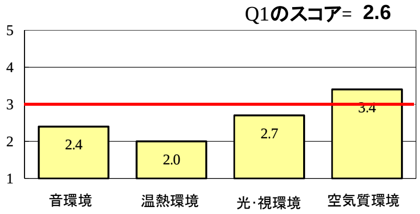


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　Q のスコア= 2.8

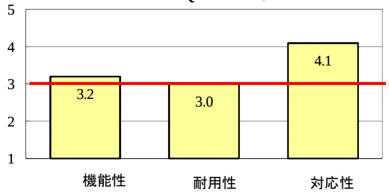
Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.6



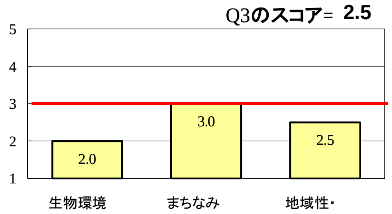
Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4



Q3 室外環境（敷地内）

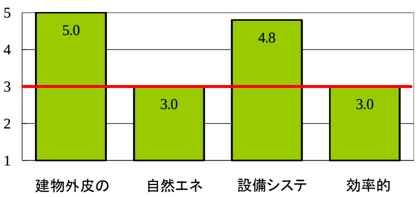
Q3のスコア= 2.5



LR 環境負荷低減性　LR のスコア= 3.8

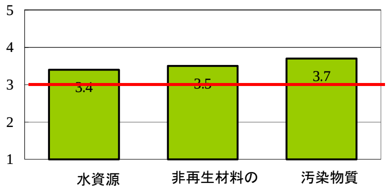
LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.3



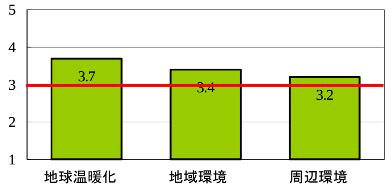
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5



LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4



3 設計上の配慮事項

総合	その他
空冷ヒートポンプ空調・LED照明の高効率設備機器を積極的に採用し、省エネルギー性能に配慮した。	特になし

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）
使用建材は全てF☆☆☆☆を使用し、空気室環境に配慮した。	耐用年数の長い材料及び配管材を使用し、耐用性に配慮した。	外構緑化指数62.9%で敷地内緑化に努めた。

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
空冷ヒートポンプ空調・LED照明の高効率設備機器を積極的に採用し、省エネルギー性能に配慮した。	節水型機器及び再生材を使用し、資源・マテリアルに配慮した。	ライフサイクルCO2排出量を80%に抑制した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産･建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版
大阪府の重点評価（結果）

受付番号	R2-変-0030

Osakafu-新築･既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)箕面ロジスティクスセンター新築工事	
	建設地	大阪府箕面市森町西三丁目	
	用途／区分	工場 事務所	
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★☆	A
①	CO2削減	★★★★☆	4
②	みどり･ヒート アイランド対策	★★★☆☆	3
③	建物の断熱性	★★★★★	5
④	エネルギー削減	★★★★★	5
⑤	自然エネルギー直接利用		—

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況								
	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

エネルギー消費量の報告	報告しない

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3－1」のスコアによる評価	3.7	4
② みどり･ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3－1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3－3．2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3－2．2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1－1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1－3」のスコアによる評価	4.8	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1－2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項	空冷ヒートポンプ空調やLED照明の高効率機器を採用し、省エネルギー性能に配慮した。	